

平成 27 年度（第 2 回）
児童館・生涯学習施設運営委員会〔概要〕

日 時：平成 28 年 1 月 13 日（水） 午前 10 時

場 所：児童館・生涯学習施設 集会室

出席者：委員 8 名、村長、教育長、事務局 4 名

【協議事項】

平成 27 年度事業報告及び運営状況、平成 28 年度事業計画について

◇図書室

- ・土曜日、お盆期間中の閉館時刻変更

土曜日とお盆期間中（8 月 13 日～16 日）の閉館時間を 17 時とした。現在のところ、混乱・意見はない。

- ・小・中学校図書館との連携強化
- ・予約件数、寄贈本の増加

◇児童館・児童クラブ

- ・放課後の利用好調。高学年も多数。
 - ・学校休業日の早朝開館時刻を、保護者からの要望により早め、8 時とした。
 - ・年末は 12 月 28 日まで受け入れをしてほしい。
- ・新年度より、小学校との連絡会を学期ごとの開催としたい。

◇のびのびスクール

- ・①水曜日開催と、②家庭訪問期間等に合わせた短期集中型の開催、が定着してきた。実施日については、検討の余地がある。
- ・松本大学生が講師の教室を統一。高津屋ラン&ウォークを春実施へとしたい。

◇子育て支援事業（新規）

- ・ほぼ毎日の利用があるが、参加者が固定化してきている。周知方法を検討。
- ・イベントが、重ならないよう、他事業との日程調整をし、余裕をもたせる。
- ・9 月に、親子カフェとして「喫茶ふう〜」を OPEN。世代を超えて利用がある。

◇今後の予定

- ・子育て支援センター開設に向けて、H28 での建設を目指す
- ・サードブック（新 1 年生対象）を実施予定

（プレゼント本＝『生坂の民話』あづみ野児童文学会/編。H28 夏頃発刊予定）

【意見・要望等】

- ・ 指導員の呼び方について、保護者、学校等から、様々な意見があるが、児童館としては「先生」とすることで統一してはどうか。のびのびスクール講師については、本人の意向も尊重すべき。
- ・ 学校図書館と公共図書館との連携が強化され、ありがたい。生坂小はクラス数が司書配置基準に達していないため、専任の学校司書はおらず、また、図書担当は担任を持っていることもあり、十分に関わるのが難しい。今後も図書管理の支援を続けてほしい。
- ・ 委員の構成を、検討する時期にきている。児童クラブ保護者など、実際に施設を日常的に利用している方を、委員に入れていくべきではないか。
- ・ 子育て支援センター開設の折りには、公民館図書室を図書館へ移行してほしい。